



# 環境報告書 2023

Environmental Report

**TC**  
Cyclers

# 「“ヒト”と“モノ”を活かし続ける」 社会を豊かにするスマートな“循環型経済”を創造する

<b>Part.1</b>	<b>Introduction</b>	
	トップメッセージ	P4
<b>Part.2</b>	<b>サイ클ーズグループについて</b>	
	ビジョン・サイ클ーズグループが成し遂げたいこと	P5
	グループ概要	P6
	沿革	P8
<b>Part.3</b>	<b>サステナビリティ経営</b>	
	環境マネジメントシステム	P10
	目標と達成状況	P11
	マテリアルバランス	P12
	LCA	P13
<b>Part.4</b>	<b>ESGへの取組み</b>	
	新たな取組み	P18
	環境安全管理の取組み	P20
	環境関連法規制遵守の現状	P21
	環境に係わる教育・コミュニケーション	P22
	事業所の安全衛生	P23
	コーポレートガバナンス	P24
	コンプライアンス	P25
	地域との共生	P25
	情報セキュリティマネジメントシステム	P26
<b>Part.5</b>	<b>企業概要</b>	
	グループ会社情報	P28
	許可・認定・認証	P30
	社員の資格一覧	P31
	工場ロケーション	P32
	リサイクルフロー	P34

## 【報告範囲】

### ◆対象組織

サイ클ーズ株式会社及びグループ会社

### ◆対象期間

2022年1月～2022年12月

(一部、報告対象期間外の情報も含まれます)

### ◆準拠・参考ガイドライン

環境省「環境報告書ガイドライン(2012年版)」を基に「環境報告書ガイドライン(2018年版)」を参考にして作成しております

# Introduction

## ▶トップメッセージ

### サーキュラーエコノミーのパートナーとなるために

サイ클ーズグループの事業会社として中核を担う東港金属株式会社は、1902年(明治35年)に非鉄金属の問屋として創業してから今日まで、金属スクラップと産業廃棄物のリサイクル事業を通じ、循環型社会に貢献すべく取り組みを続けてまいりました。2020年9月にその取組を加速させ、サーキュラーエコノミー(循環型経済モデル)のインフラストラクチャと進化していくために、純粋持株会社であるサイ클ーズを設立し、ホールディングス体制へと移行しました。サイ클ーズグループは企業の皆様における再循環の良きパートナーとして、サーキュラーエコノミーを追求してまいります。

ISO14001の取組において、コロナ禍において「資源受入量の拡大」など、苦戦した項目もありますが、全社で一丸となり目標に向かって活動を続けることができました。これもひとえにステークホルダーの皆様方からのご協力・ご支援の賜物と考えております。世界的な気候変動問題への意識の高まりを受け、我が国においても「2050年に温室効果ガス実質ゼロ」というカーボンニュートラルの推進が大きな潮流となっています。そこで再生資源の果たす役割が大きくなり、再生資源への関心・期待も日に日に高まってきていると実感しております。再生資源への社会のニーズを満たすためには、再生資源のさらなる高品質化が不可欠であり、サプライヤーとして当社グループが果たす責任を強く認識しております。2050年の温室効果ガス実質ゼロの実現に向け、当社グループはサーキュラーエコノミーを追求される企業様へのパートナーとなるべく様々な具体的な施策を行ってまいります。

一昨年からライフサイクルアセスメント(LCA)手法を用いて、千葉工場における環境負荷低減効果の算出を開始しております。特にシュレッダーラインにおける再生原料を生み出す際のバージン原料と比較したCO<sub>2</sub>削減効果と、工程におけるCO<sub>2</sub>排出量を比較して定量評価することで、可視化を進め、本当に環境負荷低減になっているのかなど検証を進め、

更なるCO<sub>2</sub>排出量削減に努めてまいります。なお、シュレッダーライン全体で集計した削減量は当社ウェブサイト上で公開しております。

また、社内のDX化も推進しており、業務でのITツールの活用を通じて社内コミュニケーションの円滑化や業務の効率化を図り、当社の事業価値の最大化を図ってまいります。

リユース、リメイク、リペア、リビルドなどのサーキュラーエコノミーにおける新しい循環への取り組み、資源リサイクルなど既存事業の高度化を図り、環境負荷低減に向けて邁進いたしますので、引き続きご愛顧のほどお願い申し上げます。



サイ클ーズ 株式会社  
代表取締役 福田 隆

# サイ클ーズグループについて

## ▶ビジョン

### サイ클ーズグループが成し遂げたいこと

#### MISSION

【ミッション】

“捨てる”をなくし、  
すべてのモノに再循環をもたらす。

#### VISION

【ビジョン】

サーキュラーエコノミーを  
追求する。

#### VALUE

【バリュー】

テクノロジーで課題を解決する。  
感動的なりサイクルサービスを提供する。  
実行を繰り返す。

## 私たちが目指すサーキュラーエコノミー

経済と“モノ”があって、“ヒト”が集まる――

“ヒト”と“モノ”を活かし続け、捨てる概念をなくすことでサーキュラーエコノミーを実現させれば、“ヒト”と“モノ”の価値を最大限に活かせる社会をつくりあげることができます。

わたしたちサイ클ーズはサーキュラーエコノミーに足りないピースを連続的に埋め込んでまいります。



## ▶グループ概要

サイクラーズグループでは、サイクラーズグループ(以降、当グループ)各社は、サーキュラーエコノミーへの移行に資する事業展開を行っております。

### サイクラーズ 株式会社 (以降、サイクラーズ)

グループ統括・リサイクルスキーム提案/構築

グループ統括・リサイクルスキーム提案/構築

サイクラーズグループの事業統括・スキーム提案を行い、グループのIT戦略・企画及びグループ会社を含む共有システムの維持管理を担っております。グループ各社をつなぎ、あらゆるループを推進し、サーキュラーエコノミーを追求することで静脈・動脈産業の垣根を越えて大きな役割を果たしてまいります。



### 東港金属 株式会社

資源リサイクル・産業廃棄物処理業 (中間処理、収集運搬)

原料再生の総合リサイクラーとして産業廃棄物処理・スクラップ買取を行っております。環境マネジメントの概念を理解し、環境保全に対応した金属類の再資源化及び産業廃棄物中間処理業務を通して持続可能な環境づくりに努めております。資源のリサイクル率向上を目指し、天然資源枯渇の抑制に貢献してまいります。



### TML 株式会社

再生資源運送業・廃棄物処理業 (収集運搬)

産業廃棄物の収集運搬業務や一般貨物の輸送業務を行っております。幅広い取り扱い品目と収集可能エリアがあり、サイクラーズグループの物流を支えております。2021年には社名を「トライマテリアル株式会社」から「TML株式会社」に変更、ロジスティクスの速度と精度の向上、機能の高度化・国際化を一層追求してまいります。



### トライメタルズ 株式会社

再生資源商社

非鉄金属製品・スクラップの販売及び輸出を行っております。独自の販売リソースを活かし、中国・東南アジア各国向けに品質とコストパフォーマンスの高い資源循環ビジネスを展開しております。これからもビジネスを拡充し続け、サイクラーズグループのグローバル化に寄与してまいります。



### トライシクル 株式会社

ITプラットフォーム開発・中古品売買業

世界初BtoB 不用品回収・リユース品販売プラットフォーム「ReSACO」、産廃・建廃業特化型の電子契約サービス「エコドラフトwithクラウドサイン」を開発・運営しております。テクノロジーとイノベーションを用いたチャレンジングな試みを通して、理想の循環社会の実現に向け歩んでまいります。



### 有限会社 竜田自転車五反田

自転車・部品、オートバイ用品等のECサイト運営および卸売業

2023年4月にサイクラーズグループの子会社になりました。自転車・部品、オートバイ用品の販売を行い、国内外100以上のブランドを取り扱っております。お客様満足度の高い商品を提案していくことで自転車人口を増やし、環境にやさしい自転車を文化として根付かせていけるよう尽力してまいります。



### 株式会社 リ・セゾン

リースアップ品のリユース業

2022年8月 株式会社クレディセゾンとサイクラーズ株式会社の合併会社として設立しました。リースアップ物件の販売・マテリアルリサイクルを通じた再循環・再資源化。資産の残存価値を高く評価し、高効率で循環させることによる新しい二次流通市場を形成します。リユースネットワークの構築と価値創造を目指してまいります。



(2023年6月末時点)

▶沿革

1900s 1960s 1970s 1980s 1990s 2000s 2010s 2020s

1902 7月  
■福田勝西商店  
商店設立  
東京市神田に伸銅  
品・非鉄金属問屋を  
開業

1929 4月  
■福田勝西商店  
2代目 福田 庸一 就任

1940 4月  
■福田商工合名会社  
社名を「福田勝西商  
店」から「福田商工合  
名会社」に変更

1947 5月  
■福田地銅店  
会社設立

12月  
■東港金属  
会社設立  
代表取締役  
福田 庸一 就任  
地金問屋業 開始

■福田地銅店  
会社設立  
代表取締役  
福田 庸一 就任  
製品問屋業 開始

1960 3月  
■東京精錬  
会社設立  
銅合金の精錬及び  
インゴット製造開始

1965 2月  
■齊田工機  
会社設立

1978 10月  
■東京銅合金工業  
社名を「東京精錬株  
式会社」から「東京銅  
合金工業株式会  
社」に変更

1978 4月  
■東京銅合金工業  
京浜島工場 開設

■東港金属  
京浜島工場 開設

1985 8月  
■東港金属  
代表取締役  
福田 勝年 就任

1992 7月  
■メタルポート  
社名を「株式会社福  
田地銅店」から「株式  
会社メタルポート」  
に変更

1994 3月  
■東港金属 京浜島工場  
電線リサイクル処理  
(ナゲット)プラント  
導入  
産業廃棄物中間処理  
業許可(切断・破碎)  
取得:東京都

9月  
■東港金属 京浜島工場  
産業廃棄物処分業許  
可 取得:東京都

1997 ■東港金属  
東京銅合金を吸収合併

2001 4月 ■東港金属  
家電リサイクル法に基づき  
指定引取場所となる。

2002 9月 ■東港金属  
代表取締役 福田 隆 就任

2004 10月 ■東港金属  
精錬事業から撤退

11月 ■京浜島工場  
電線リサイクルのナゲット処理事  
業から撤退  
圧縮梱包機 導入

2004 1月 ■トライマテリアル  
会社設立

6月 ■トライマテリアル  
一般貨物自動車運送事業許可 取得

7月 ■トライマテリアル  
産業廃棄物収集運搬業許可  
取得:東京都

■東港金属 京浜島工場  
ISO14001(環境マネジメントシ  
テム) 取得

2007 3月 ■トライメタルズ関東  
会社設立

4月 ■東港金属 東京事務所  
開設  
営業部門及び事務部門の一部を移転

8月 ■東港金属  
千葉工場を開設

2009 2月 ■東港金属 千葉工場  
産業廃棄物中間処理業許可(破碎)  
取得

4月 ■東港金属  
ISO27001(情報セキュリティマネ  
ジメントシステム) 取得

7月 ■トライマテリアル  
ISO14001 取得

■東港金属 千葉工場  
ISO14001 認証範囲に拡大登録

2010 2月 ■東港金属  
産廃エキスパート 取得

■トライマテリアル  
産廃プロフェッショナル 取得

5月 ■京浜島事務所  
新事務棟に移転

■京浜島工場  
産廃選別ライン 導入

10月 ■東港金属 家電リサイクル法の  
指定引取場所 閉鎖

2011 1月 ■トライメタルズ  
社名を「トライメタルズ関東株式  
会社」から「トライメタルズ株式  
会社」に変更

11月 ■東北トライメタルズ  
会社設立

12月 ■トライメタルズ  
ISO9001(品質マネジメントシ  
テム) 取得

2012 7月 ■東港金属  
創業110周年を迎える。  
産業廃棄物処分業許可/優良産  
廃処理業者 認定取得:茨城県

2013 12月 ■トライメタルズ  
AQSIQ(廃プラスチック、金属く  
ず、ミックスメタル輸出ライセ  
ンス)登録

2014 1月 ■東港金属 千葉工場  
ギロチン 導入

■トライメタルズ  
スクラップ船積み輸出開始

2015 5月 ■東港金属 千葉工場  
自動車リサイクル法に基づく  
破碎業許可 取得

11月 ■東港金属 京浜島工場  
ベット・マット剥離機 導入

2016 10月 ■東港金属 京浜島工場  
第5ヤード 開設

12月 ■東港金属 京浜島工場 圧縮油圧  
切断機 導入

2018 5月 ■トライシクル  
会社設立

2019 2月 ■トライシクル  
ReSACOサービス開始

10月 ■トライシクル  
「エコドラフト withクラウドサ  
イン」サービス 開始

11月 ■トライシクル  
ReSACOリサイクルセンター  
開設

2020 8月 ■東港金属 千葉工場  
USSPライン導入

9月 ■サイクラーズ  
会社設立 持株会社化

2021 1月 ■東港金属 千葉工場  
SSライン導入

■TML  
社名を「トライマテリアル株式会社」  
から「TML株式会社」に変更

4月 ■トライシクル  
「エコドラフトwithクラウドサイン」  
にて「全産連標準様式 準拠版」  
リリース

■サイクラーズ  
ISO27001 取得

7月 ■サイクラーズ  
ISO14001 取得

2022 7月 ■サイクラーズグループ  
創業120周年を迎える

8月 ■リ・セゾン  
会社設立

9月 ■トライシクル  
「エコドラフトwithクラウドサイ  
ン」にて「統合様式」リリース

2023 2月 ■トライシクル  
「エコドラフトwithクラウドサイン」  
にて「解体工事請負契約書」  
「解体工事請負契約書(下請契約  
用)」 「解体工事前調査契約書  
式」リリース

■トライシクル  
「エコドラフトwithクラウドサイン」  
にて「処分終了証明書様式」リリース

4月 ■サイクラーズ  
「有限会社竜田自転車五反田」の  
全株式を取得

■サイクラーズグループ  
執行役員制度を導入

5月 ■サイクラーズグループ  
取締役会設置会社への移行を決  
議、社外取締役及び社外監査役を  
選任

■サイクラーズグループ  
グループ各社のコーポレートロゴ  
を共通化

■サイクラーズ  
GXリーグ参画

■サイクラーズ  
「株式会社ピリカ」に出資



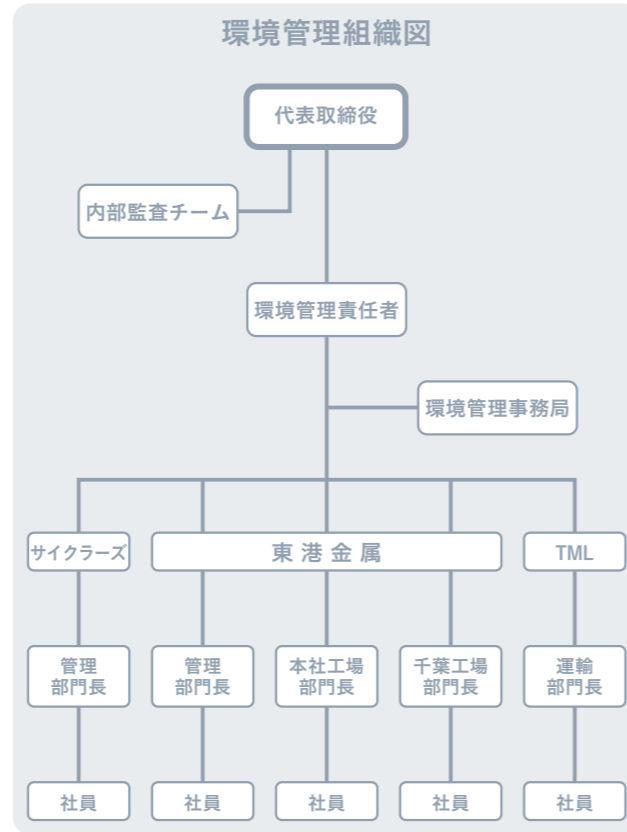
# サステナビリティ経営

## ▶環境マネジメントシステム

当グループは、事業活動の様々な過程において環境負荷が生じることを認識し、環境方針を定め、環境マネジメントシステムのもとで環境負荷を正確に把握し、その低減を通じて、持続可能な開発目標の達成に貢献しております。

環境方針は常に職場内に掲示し、社内に周知させることで、社員が労働災害や労働疾病防止をはじめとする様々な側面を意識し、環境負荷の少ないリサイクル業務に取り組めるよう指導しております。2006年6月にISO14001を取得いたしました。

代表取締役をトップとする推進体制で、定期的なフォローアップをすることで可視化し、環境方針に沿った管理体制の維持向上に努めております。



## 環境方針

サイクラーズ株式会社及び東港金属株式会社(以下、「当組織」という)は、資源循環型社会の一翼を担う金属加工処理業ならびに産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業等の事業を通じて環境負荷の少ないリサイクルに正面から取り組み、社会に貢献できる企業を目指し、従業員が一丸となり環境保全対策を実施し、環境保全のために尽くします。

1. 当組織の事業活動、製品及びサービスに関わる環境側面を常に認識し、汚染の予防に努めるとともに環境パフォーマンス向上のために環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 当組織の環境側面に関係して環境保全水準の向上を図るために法的要求事項、及び自主基準を設け、決めた要求事項を順守します。
3. 当組織が行う事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響の中で、以下の項目について重点テーマとして改善活動を推進します。

- (1) 取扱商品の入荷量を拡大し、当組織より排出する産業廃棄物の削減を図り、天然資源の枯渇の抑制に貢献するとともに、最終処分量の削減に努めます。
- (2) 千葉工場のシュレッダー業務の効率化を図り、処理量拡大を図ります。
- (3) 各種車輛、重機等に使用する燃料の削減を図り、環境負荷削減を推進します。
- (4) 工場内のプラント設備、事務所の照明・空調等に使用する電力使用量の削減を図り、環境負荷削減を推進します。

## ▶目標と達成状況

### 環境負荷低減への取り組み

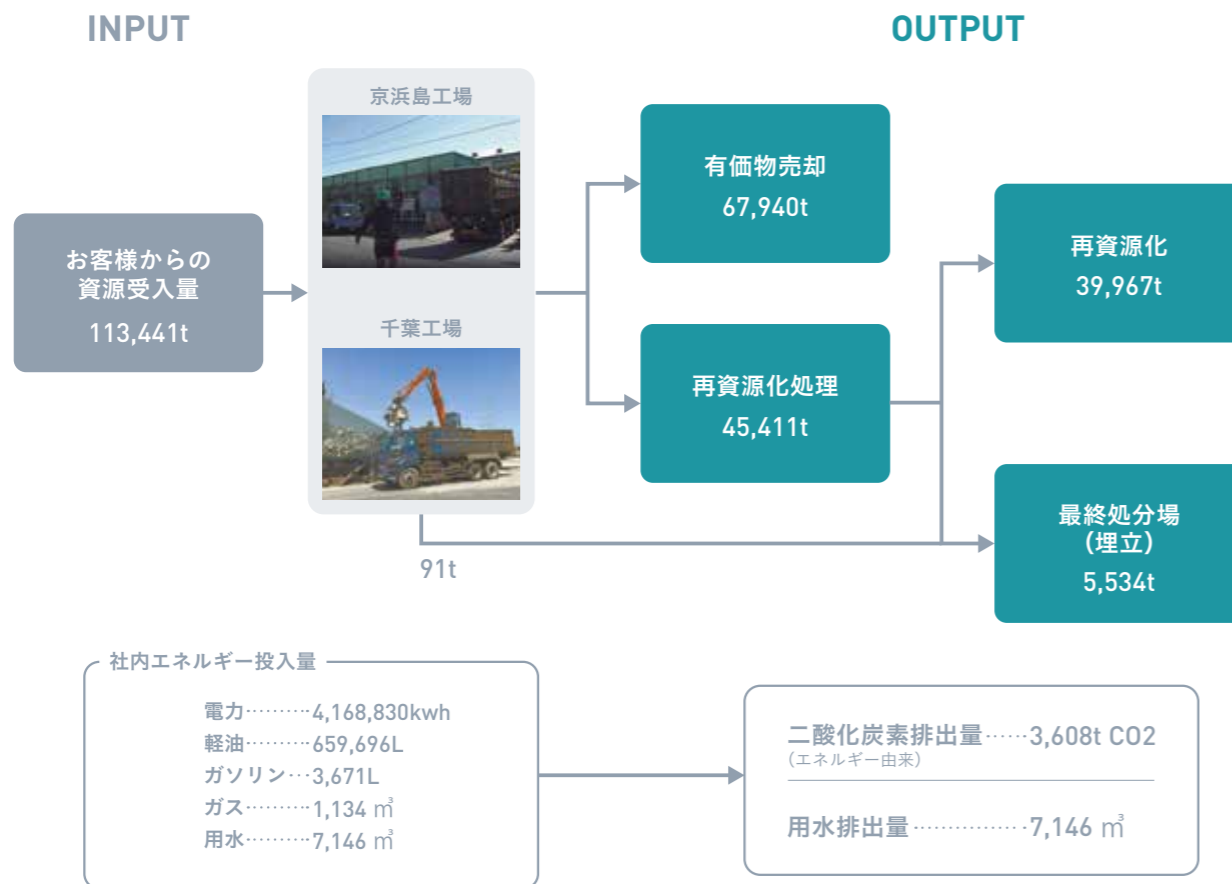
当グループは、事業活動、製品、及びサービスが環境に与える影響の中で、重点テーマである省エネ・省資源、効率向上の達成すべき目標を環境保全計画として設定しております。このページではISO14001の適用範囲(東港金属本社、京浜島工場、千葉工場、TML及びサイクラーズ)の環境目標・年度環境実行計画に基づくデータを掲載いたしました。

推進項目	施策	期間目標	結果
資源受入の拡大 ※1	(1)仕入先の拡大(営業活動)	目標 112,847t/年 達成	Clear ✔
燃料使用量の削減 ※2(運搬車輛)	(1)アイドリングストップの励行 (2)アクセルの吹かし過ぎ防止 (3)急発進の防止 (4)効率的な積み降ろし・運搬 (5)車輛の定期点検・整備	目標 829L/千トン 達成	Clear ✔
燃料使用量の削減 ※3(重機車輛)	(1)アイドリングストップの励行 (2)アクセルの吹かし過ぎ防止 (4)効率的な積み降ろし・運搬 (5)車輛の定期点検・整備	目標 1,663L/千トン 達成	Clear ✔
電力使用量の削減 ※4(本社工場)	(1)破碎機モーター稼働時の ライン設備トラブル減少 (2)定期的メンテナンスの実施	目標 10,956kWh/千トン 達成	Clear ✔
電力使用量の削減 ※5(千葉工場)	(1)破碎機モーター稼働時の ライン設備トラブル減少 (2)定期的メンテナンスの実施	目標 48.46kWh/トン 達成	Clear ✔

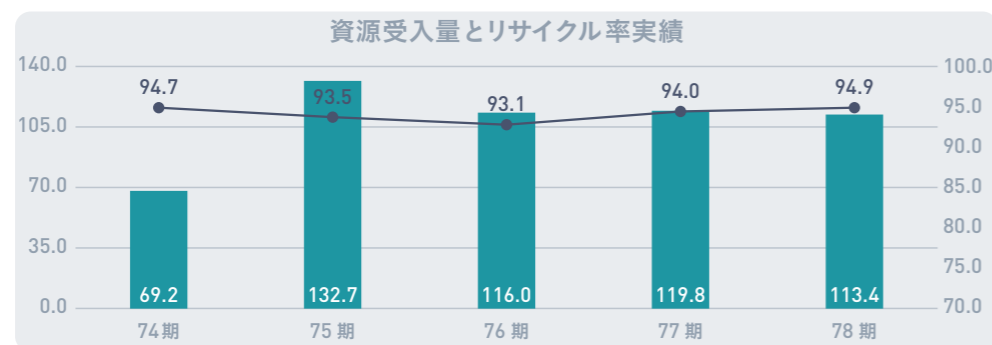
※1 紙使用量原単位=コピー用紙A4換算使用枚数/(本社入出荷量+千葉工場入出荷量)  
 ※2 燃料使用量原単位(運搬車輛)=運搬車輛燃料使用量/本品入出荷量  
 ※3 燃料使用量原単位(重機)=重機用燃料使用量/本品入出荷量  
 ※4 電力使用量原単位(本社)=電力使用量/本品入出荷量  
 ※5 電力使用量原単位(千葉工場)=電力使用量/千葉工場入出荷量

## ▶ マテリアルバランス

当グループの事業活動に伴い投入された電力や化石燃料などの各種エネルギーは下記のとおりです(第78期)。



二酸化炭素排出量計算(排出係数)の根拠  
 電力:電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)  
 -R2年度実績-R4.1.7 環境省・経済産業省公表、R4.2.17一部修正、R4.7.14一部追加・更新 環境省・経済産業省公表の基礎排出係数より  
 用水:東京都地球温暖化対策報告制度「地球温暖化対策報告書作成ツールv8.4 換算係数マスター」より  
 電力・用水以外:エネルギー源別標準発熱量一覧表\_2020年1月改訂\_2022年11月一部追加改訂(経済産業・資源エネルギー庁)より  
 ※1 資源受入量は、本社工場と千葉工場への新規受入量の合計です。  
 ※2 社内エネルギー投入量は、ISO14001適用範囲である持株会社サイクラーズ及び協力会社TMLの投入量を含んでおります。



リサイクル率の算出方法:受入量に対して、  

$$1 - \frac{(\text{直接埋立処分場への搬送量}) + (\text{二次処理先への搬送量}) \times (\text{二次処理先埋立量})}{\text{受入量}}$$
 の埋立率を考慮して求めた率。

## ▶ サイクラーズグループがLCAに取り組む理由

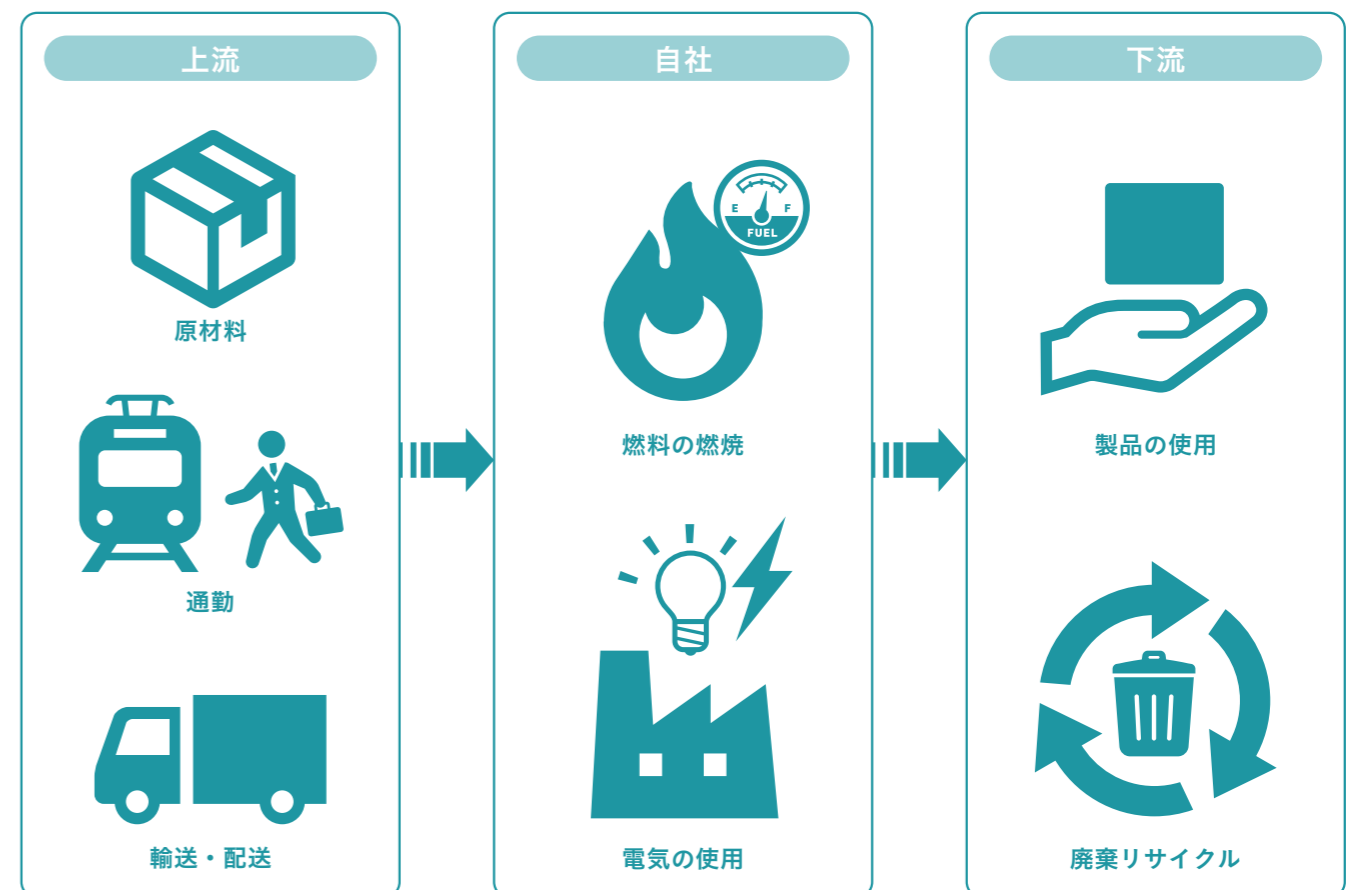
世界でカーボンニュートラルに向けた動きが加速しております。企業においても気候変動が経営に与える影響を考慮し、リスクや機会への対応を経営戦略として行うことが重要となりました。

当グループは1902年(明治35年)に創業して以来、金属加工と産業廃棄物のリサイクル事業を通じて、資源循環型社会の実現に取り組んでまいりました。近年は、リユース・水平リサイクルなどより環境負荷が低い方法によるサーキュラーエコノミーの追求に注力しています。しかしながら、単に環境に優しい方法を採用するだけでなく、本当に環境負荷が低いリサイクル手法を客観的に評価する必要があると考えています。そのため、私たちはLCA評価を通じて、環境負荷の算定を行っています。

私たちは、より良い未来のために環境負荷を低減し、資源循環型社会の実現に向けて今後も積極的に取り組んでまいります。

## ▶ (参考)LCAとは

LCA(Life Cycle Assessment)とは、製品やサービスなどのライフサイクル全体にわたる環境負荷を評価する手法です。従来の環境評価手法は、製品の使用時に排出される二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)などの温室効果ガス(GHG)に限定されていましたが、LCAはそれだけでなく、製品の原材料調達、製造、運搬、使用、廃棄に至るまでの環境負荷を評価しております。



温室効果ガスの排出方法、排出主体による区分け

スコープ1:事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)

スコープ2:他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

スコープ3:スコープ1、スコープ2以外の間接排出

(事業者の活動に関連する他社の排出)

## 東港金属 千葉工場におけるLCA評価

2022年4月より東港金属 千葉工場におけるLCA評価を開始いたしました。  
スクラップ受入～出荷までを対象（生産される一部の品目を除く）としており、評価結果はHP上で公開しております。

2022年4月～12月 GHG(温室効果ガス)削減効果

**20,899t CO2削減\***  
**杉の木約148万本相当**

※スクラップ生産による控除分パーজন材から製造した場合との比較

**Tips 二酸化炭素1トンってどれくらい？**  
二酸化炭素1トンは杉の木約71本が1年で吸収する二酸化炭素に相当します。

二酸化炭素1トン = 杉の木約71本

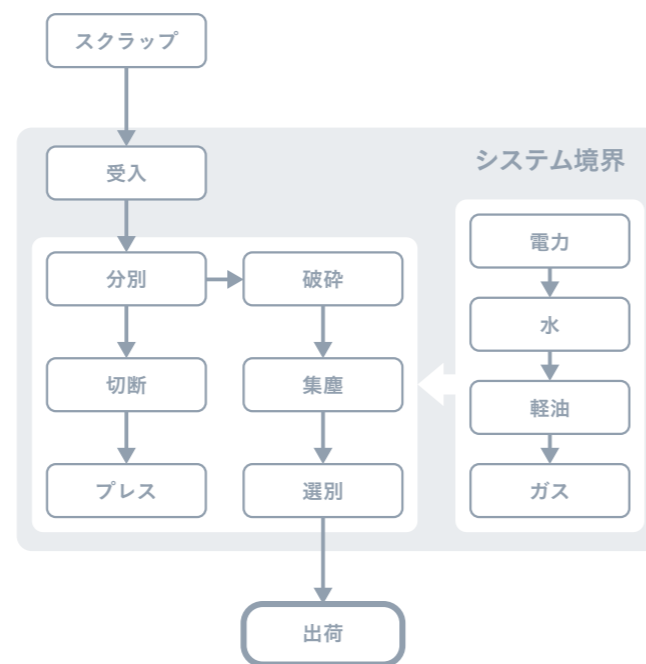
### 目的及び調査範囲の設定

#### 目的の設定

- ①意図する用途  
報告書に記載し、一般に公開
- ②実施する理由  
対象の環境影響を明らかにするため

#### 調査範囲の設定

- ①調査対象  
東港金属 千葉工場
- ②機能  
主破碎：1,000馬力  
選別方法：磁力選別、カラー選別、手選別など
- ③システム境界  
右図(生産される一部の品目を除く)

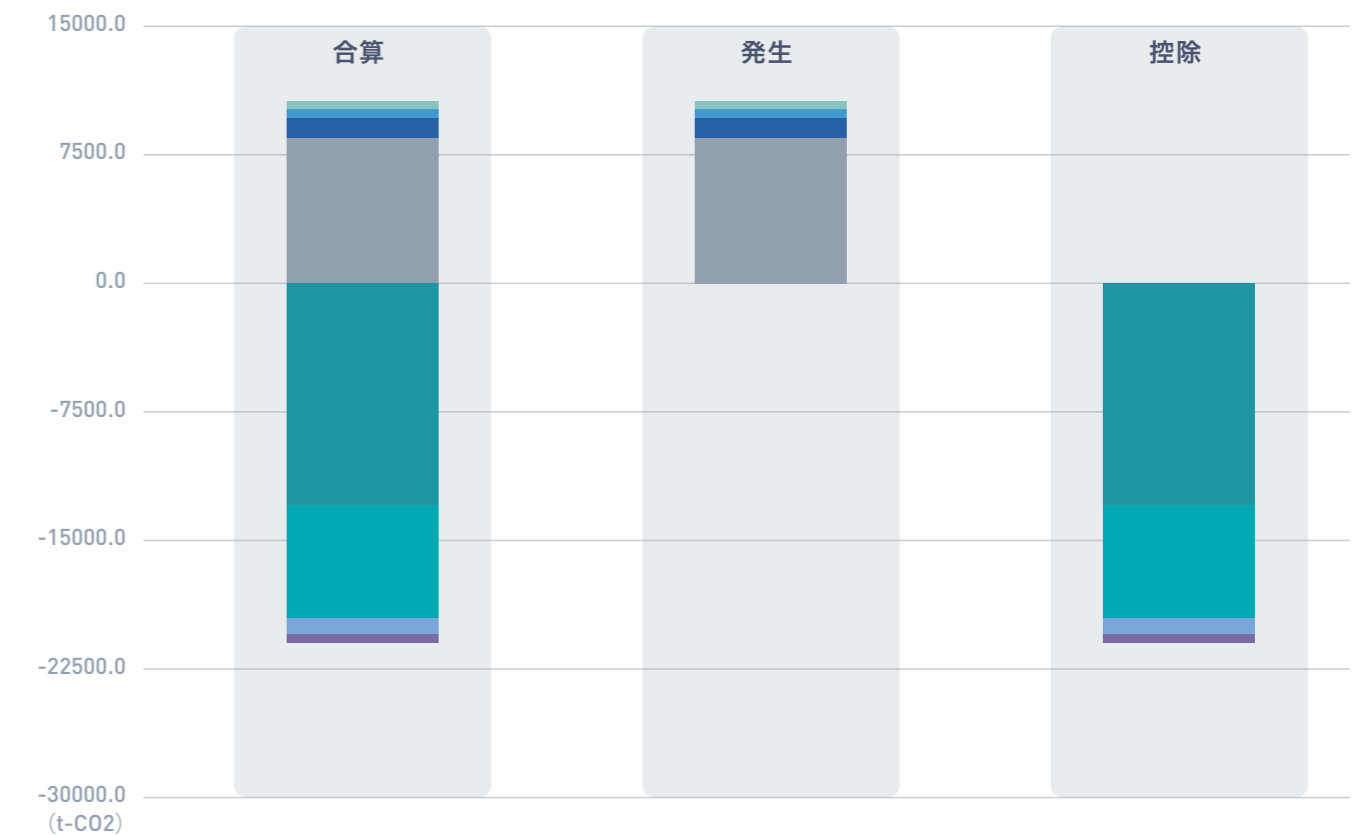


### インベントリ分析(2022年4月～12月)

発生			
入出力項目		収集データ	
入力	電力	2,127,850	kWh
入力	軽油	181,339	L
入力	酸素	756	m <sup>3</sup>
入力	プロパンガス	86	m <sup>3</sup>
入力	都市ガス	103	m <sup>3</sup>
入力	炭酸ガス	180	m <sup>3</sup>
入力	水	3,155	m <sup>3</sup>
入力	工場設備	176,967	k¥
出力	ダスト	13,494	t

控除(生産されたスクラップ量)			
入出力項目		収集データ	
出力	鉄	22,189	t
出力	ステンレス	321	t
出力	アルミ	677	t
出力	MIXメタル	1,478	t
出力	モーターコア	59	t
出力	金銀銅滓	115	t
出力	SSピッキング	36	t

### インベントリ分析結果(2022年4月～12月)



品目	CO2発生・控除量(トン)
ダスト	8,486
電力	1,019
軽油	646
工場設備	548
水	14
都市ガス	0.5
プロパンガス	0.3
酸素	0.1
炭酸ガス	0.1
再生用: 鋳物用アルミスクラップ	-12,704
再生用: 棒鋼用鉄スクラップ	-6,797
再生用: ステンレス	-863
再生用: MIX銅	-534

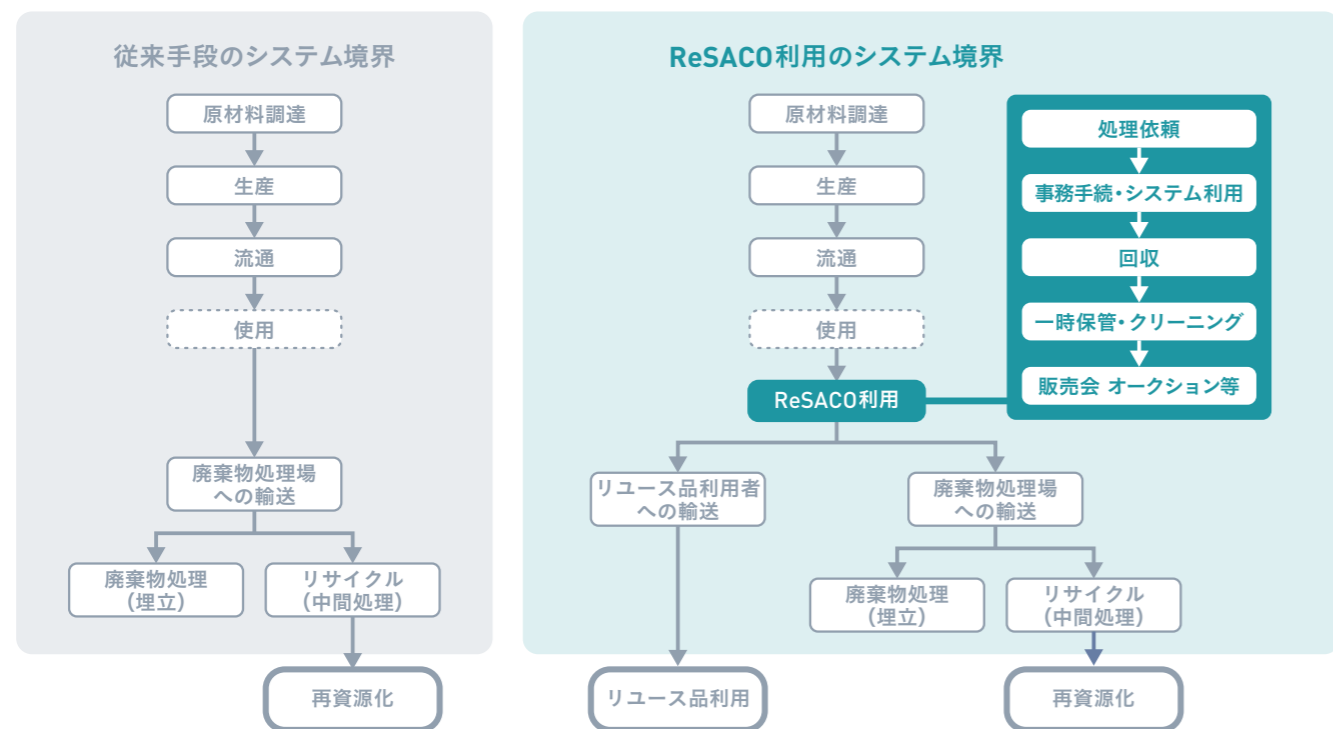
インベントリ分析には、一般社団法人 サステナビリティ技術設計機構「EZS3環境帳簿」を用いました。  
試験的取り組み且つ月間報告の為、影響評価と解釈は省いております。



## ▶これまでのサイ클ーズグループにおける取り組み

### ReSACO事業のLCA

トライシクルが開発・運営するリユースプラットフォーム「ReSACO」において、LCA評価結果は次のとおりです。算定対象としたオフィス家具は事務用椅子・事務用机・書庫です。評価モデルの検討において、算定システム境界は下図の枠内としております。



※廃棄物回収の場合は「一時保管/クリーニング」「販売会 オークション等」は実施なし

従来手段では、家具の原材料調達～廃棄・リサイクル処理まで、ReSACO利用では、家具の原材料調達～ReSACOサービスを利用したリユースもしくは廃棄・リサイクル処理までとしています。

### オフィス家具種類別1台あたりのCO2排出量削減効果※

椅子 1台あたり				机 1台あたり				書庫 1台あたり			
従来手段		ReSACO		従来手段		ReSACO		従来手段		ReSACO	
排出量	削減量	削減率	排出量	削減量	削減率	排出量	削減量	削減率	排出量	削減量	削減率
90kg	55kg	39%	135kg	79kg	41%	169kg	95kg	44%			

算定結果よりオフィス家具を①廃棄・リサイクルした場合、②リユースした場合で比較したところ、椅子1台あたり①90kgのCO2を排出、②55kgのCO2を排出、ReSACO利用を通して35kgのCO2を削減（削減率39%）できることが分かっております。

※ReSACOサービス全体の算定結果と各家具の取扱量を、処分方法の比率や利用サービスの比率で配分して計算した推計値であるため、処理の受付から処分完了まで個別にトレースして計算した場合と算定値が異なる可能性があります。

### 産学連携によるLCA評価(東京大学村上研修室との共同研究)

サイ클ーズは、東京大学大学院工学系研究科村上進亮研究室とサーキュラー・エコノミー型ビジネスの包括的評価のため、共同研究を開始しました。事業系廃棄物の最適ナリサイクル資源循環手法の検討のための評価手法を構築し、実践して参ります。

#### 【背景】

企業自らが使用する燃料や電気等に由来する排出量 (Scope1、Scope2排出量) だけでなく、企業の活動に関連する他社の排出についても間接的な排出量 (Scope3排出量) として算定し、サプライチェーン全体の排出量を把握することが求められています。

Scope3排出量の算定方法は、取引先から入手した1次データ (GHG排出量等の実際のデータ) を使用する方法と2次データ (環境省等が提供している排出原単位) を使用する方法の2つに大別されます。前者の方法は、算定の精度が高く、取引先を含めた排出量の削減努力が数値に反映されやすいことが特徴です。

#### 【共同研究の主な目的】

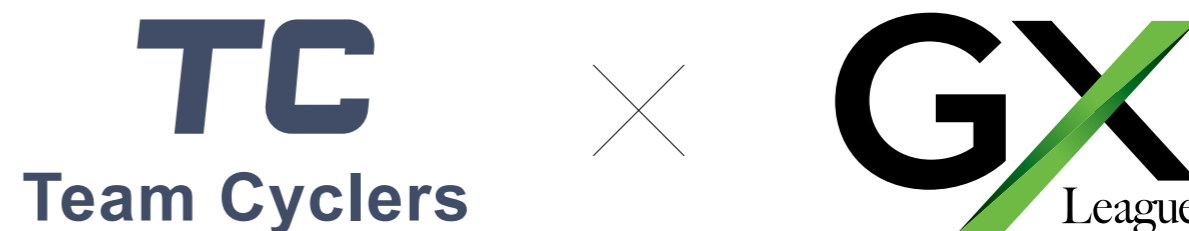
製品の製造から廃棄・リサイクルまで、1次データを用いてLCA評価を実施します。メーカーから製品データ・製造にかかったデータを取得し、製造～使用～回収～リサイクルのライフサイクル評価を行います。

また、当社では事業系廃棄物の処理から、リユース・パーツ取りなどの様々な事業を行っています。リユース→資源リサイクルのカスケード式再循環の検証や水平リサイクル (鉄、プラスチック) の評価を行い、最適ナリサイクル資源循環手法の検討・実践を行います。

### GXリーグ参画

サイ클ーズは、2022年度より経済産業省が公表した「GXリーグ基本構想」への賛同を表明していました。そして、2023年度からは本格稼働する「GXリーグ」※に参画しました。

削減目標の設定、排出量実績の算定・報告を行い、当グループの脱炭素社会への取組を可視化していきます。また、参画企業と連携し、2050年カーボンニュートラルを目指していきます。



※GX(グリーン・トランスフォーメーション)とは、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを通じた、経済社会システム全体の変革です。GXリーグとは、企業が2050年カーボンニュートラルに向けた取り組みを通じて経済成長を実現し、社会システムの変革へ挑戦し協働する場のことです。

## ESGへの取り組み

## ▶ 新たな取り組み

## 特許出願 スマートグラス開発

サイ클ーズと富山高等専門学校との産学連携の取り組みの中で、混合廃棄物手選別工程におけるスマートグラスを開発し、特許出願を行いました。

**TC**  
Team Cyclers



**富山高等専門学校**  
National Institute of Technology, Toyama College



スマートグラスを選別者が装着することで、簡単に選別が可能となります。

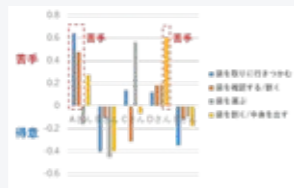
手選別工程では、対象プラスチックを効率よく選別できず、プラ含有紙・プラ非含有紙を判別するのが難しいといった課題がありました。ピッカー（選別者）がスマートグラスを装着することで、これらの課題を解決することが可能となります。

## データサイエンスを活用した現場DX

東港金属の廃棄物分別工程における土間選別（地面に廃棄物を落とし腰を曲げながらの選別作業）は非常に危険で大変な作業です。しかし、危険物の抜き取りやりサイクル率UPには欠かせない重要な作業です。この土間選別を中心に廃棄物業の作業を安全に、効率的に行うため、データサイエンスを活用した現場DXの取り組みを行っています。

## ■データ解析

基礎データの取得・分析を通して、課題の見える化・改善提案を行い、課題解決を図っています。



## ■設備開発+データ解析

課題を解決するため、設備開発を行い、ケガ撲滅・作業不足解消・生産性向上を目指しています。



特許申請中の破袋機

## 収集運搬車両にタカノメ導入

2023年4月よりTMLの車両にタカノメを導入いたしました。

タカノメとは、路上に散乱したごみの分布や深刻さを調査、可視化するサービスです。解析情報から得られる課題の活用を検討して参ります。



スマホで路上を撮影



機械学習でごみを検知



地域美化にデータを活用



タカノメを搭載したTMLの収集運搬車両



## デザインブランド

本来ならば捨てられてしまうモノにデザインの力で新しい価値を与え環境にやさしいモノづくりを目指したい。そんな想いからブランドを立ち上げました。

家具を中心に、今後広い分野で事業を展開していく方針です。



清掃・研磨・分解・研磨などの工程を通し新品以上の価値を与えます。

## ▶環境への取り組み

当グループは、事業活動、製品及びサービスが環境に影響を与える原因・活動を常に認識して、周辺地域への環境に配慮し、環境負荷低減・予防に努めております。東港金属 京浜島工場、千葉工場の操業に伴って発生する騒音・伸銅・粉じん。及び構内から排出される雨水の含有成分を自主的に測定し、開示しています。

第78期の測定値は規制基準値(もしくは自主規制基準値)内でした。今後とも環境負荷低減に努めてまいります。

下記の環境調査結果(概要版)は当グループのホームページにて開示しております。



### 東港金属環境調査結果(騒音・振動・悪臭・粉じん・雨水)

調査実施機関:株式会社環境総合研究所【計量証明登録 濃度第592号、音第7号、振動1号】  
 調査期日 京浜島工場:令和4年5月20日(金) 千葉工場:令和4年5月23日(月)  
 調査方法:当該地域を規制する条例等の調査方法を採用(詳細は、弊社ホームページ参照)  
 調査結果:適否の欄の記号は次のとおり。○:規制基準を満足 ×:規制基準を超過

#### 1.騒音レベル調査結果

調査場所	調査位置	調査時間	調査結果	適否	規制基準(参考)	騒音測定時の状況
京浜島工場	敷地境界(東)	9:41~9:51	67dB	○	70dB	工場内の稼働音
千葉工場	敷地境界(南)	9:45~9:55	61dB	○	70dB	工場内の稼働音

注)京浜島工場:工業専用地域であり規制基準は適用されないため、第4種区域の規制基準を参考に示した。  
 千葉工場:工業地域であるため、第4種区域の基準を当てはめた。

#### 2.振動レベル

調査場所	調査位置	調査時間	調査結果	適否	規制基準(参考)	騒音測定時の状況
京浜島工場	敷地境界(東)	9:41~9:51	56dB	○	65dB	工場稼働
千葉工場	敷地境界(南)	9:45~9:55	54dB	○	65dB	工場稼働

注)京浜島工場:工業専用地域であり規制基準は適用されないため、第2種区域の規制基準を参考に示した。  
 千葉工場:当該地域は工業地域であるため、第2種区域の基準を当てはめた。

#### 2.悪臭

調査場所	調査位置	採取時間	調査結果	適否	規制基準(参考)
京浜島工場	敷地境界(東)	11:34	56dB	○	13
	敷地境界(北)	11:22	54dB		
千葉工場	敷地境界(北)	11:22	11:22	○	-
	敷地境界(南)	11:22	11:22		

注)京浜島工場:工業専用地域であり規制基準は適用されないため、第2種区域の規制基準を参考に示した。  
 千葉工場:当該地域は工業地域であるため、第2種区域の基準を当てはめた。

#### 4.粉じん

調査場所	調査位置	調査時間	調査結果	適否	規制基準(参考)
京浜島工場	敷地境界(東)	9:10~13:10	0.23mg/m <sup>3</sup>	○	1.5 mg/m <sup>3</sup>
千葉工場	敷地境界(南)	9:12~13:12	0.31mg/m <sup>3</sup>	○	1.5 mg/m <sup>3</sup>

注)東京都、千葉県ともに施設から発生する粉じん濃度には規制値は存在しないため、参考までに茨城県条例で粉じん発生施設に適用される基準値と比較した

#### 5.雨水排水

「下水の水質の検定方法等に関する省令(昭和37年厚・建令1)」に基づき、下記項目について調査を実施。全ての項目で下水道基準値を満足しておりました。  
 調査項目:カドミウム、全シアン、有機燐、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀、アルキル水銀、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ホウ素、フッ素、全クロム、銅、亜鉛、フェノール、溶解性鉄、溶解性マンガ、BOD、SS、n-ヘキサ(鉱油)、n-ヘキサ(動植物油)、全窒素、全リン、水素イオン濃度(pH)、温度、汚濁消費量、1,4-ジオキサン

## ▶環境関連法規制遵守の現状

当グループの事業に係る主な環境関連法規制は以下のとおりです。  
 第78期で行政より指導・勧告を受けたものはありませんでした。

環境側面	法・条例等	要求事項(当社該当主要項目のみ)	該当施設等	該当部署	必要資格
地球温暖化	工場立地法	駐車場及び緑地面積:8%以上	京浜島工場敷地	-	-
		敷地緑地20% [8315㎡]以上	千葉工場敷地		
排気ガスの放出	大気汚染防止法	ばい煙排出基準規制値遵守	非常用ディーゼル発電機	千葉工場	-
		ばい煙量の判定監視			
自動車運行	道路交通法	自動車免許、速度制限、積載制限、アルコールチェック	運搬車両・自家用車	運輸部門 営業部門	運転免許 運行管理者認証
	Nox・PM法	規制対応車輛			
	道路運送法	運行管理者の設置			
[業]廃棄物の受入れ 収集運搬及び処分業	廃棄物処理法	廃棄物再生業/廃棄物の収集運搬及び処分の許可	業としての 被処理物の受入	全部署	収集運搬業(積替保管) 中間処理業 古物商
		廃棄物の保管施設への掲示板の設置			
		委託基準の順守			
		産廃物搬出入時のマニフェスト伝票管理、及び行政報告 マニフェスト伝票の保管管理(A票含む)			
[事業者] 廃棄物の排出	廃棄物処理法	廃棄物処理責任者の設置	業務全般からの排出	-	-
		二社契約:許可番号、事業の範囲、有効期限、処理能力、重量、単価等の記載			
		産廃最終処分業者の処分場視察			
		環境に負荷を与えない施設の維持管理 資源化を推進し、最終処分量の削減 地域住民との協調			
家電電の受入・保管	家電リサイクル法	家電リサイクルの受入れ保管	特定家庭用機器廃棄物	運輸部門	積替保管施設
		家電リサイクルの指定引取場所への搬出			
トラックスケールの使用	計量法	トラックスケール台貫計量誤差検定 (1回/2年 検査の実施)	トラックスケール(20t, 40t, 50t)	生産部門(京浜島工場)	-
			トラックスケール(60t)	生産部門(千葉工場)	
フロン類の回収 フロン使用機器	フロン排出 抑制法	東京都知事による登録	業としての受入・回収	生産部門 営業部門	第一種フロン類 充填回収業者
		千葉県知事による登録			
		適正回収、工程管理制度、回収証明書の交付			
悪臭の発生	悪臭防止法	エアコン機器の簡易定期点検	エアコン	全部署	冷媒フロン類取扱技術者
		年一回以上の検査 臭気指数基準の順守	工場棟及び工場内設備	京浜島工場 生産部門	-
火災の発生	消防法	火災発生件数:0件 指定可燃物の貯蔵量	全域 工場棟及び工場内設備	全部署 生産部門	-
水銀廃棄物の管理	廃棄物処理法施行令	水銀廃棄物の適正な管理	運搬車両	運輸部門	収集運搬業
材料及びエネルギー使用を 物品の購入時に考慮	グリーン購入法	グリーン調達を推進し、環境に与える負荷を軽減する	事務用品全般	事務部門	-

#### 環境会計

当グループとしての環境会計の算出方法を模索しておりますが、平成12年3月の環境庁「環境会計システムの確立に向けて(2000年3月)」に記載されておりますように、環境保全コストの把握に関しては今後の課題とさせていただきます。

<参考>

「本業として環境ビジネス(公害防止装置の製造、環境コンサルタント、廃棄物処理・リサイクル事業等)に取り組む場合の環境保全コストの把握(測定)に関しては、困難な問題が多く残されていますが、原則として、本業として取り組む環境ビジネスに関するコストは環境保全コストには含まれないと考えられます。ただし、企業等において独自の算出方法を考案されている場合は、その方法を明示した上で、把握(測定)・公表することを妨げるものではありません。この問題については今後の課題とさせていただきます。」

平成12年3月 環境庁

#### グリーン購入の促進

当グループでは社内に物品調達に関して、共有使用できるものやリユースできるものの再使用を推進しているほか、グリーン購入の考えに即した環境負荷低減に資する製品を積極的に使用することに努めております。

#### バリューチェーンにおける環境配慮等の取組み

当グループの事業活動におけるバリューチェーンに関わる全ての環境影響を認識し、その中で環境負荷の大きなものを重点テーマとして改善を図っております。



## ▶環境教育・コミュニケーション

### 環境教育・社内啓発

当グループ入社時には、環境・衛生の基本教育に加え、当グループの事業を通じた環境保全の取り組みや事業に伴って生じる環境影響・環境側面を伝えております。また、全社員に向けて、環境マネジメントシステム(ISO14001)の教育を実施し、当グループの環境方針や環境管理体制、継続的な改善活動の重要性を伝え、全社での環境保全意識の向上に努めております。

### 安全運転講習会

当グループでは、物流部門において、プロのドライバーとして責任をもって業務に従事するため、年間教育プログラムを策定し、外部講師を招いての講習会を毎月開催しているほか、東京都トラック協会主催の交通安全や交通公害についての講習会にも積極的に参加しております。「安全・確実・迅速」をモットーとし、安全が全てに優先することの大切さをはじめとして、エコドライブや道路交通法の確認、周囲への気配り等の社員の意識アップを図っています。

### 『マン・オブ・ザ・マンス』表彰制度

東港金属・TMLでは、構内作業のヤード部門と物流のドライバー部門それぞれで他の社員の規範となった社員を『マン・オブ・ザ・マンス』として毎月表彰しております。



### 情報紙「羅針盤」の発行

当グループでは、業界動向や法令改正の情報などのトピックを中心に情報誌「羅針盤」を、2010年3月以来毎月発行しております。バックナンバーは東港金属のホームページからご覧いただけます。

<https://www.tokometal.co.jp/rashinban/>

## ▶事業所の安全衛生

### 安全衛生委員会

東港金属及びTMLは、事業所別の安全衛生委員会を組織するとともに、8つの分科会を設置しテーマ別に積極的な推進・改善に取り組んでいます。委員会には持株会社サイ클ーズの管理部門からも参画しております。

### 職場安全衛生環境会議

職場安全衛生環境会議を隔月で定期的開催しております。産業医の先生にも参加をお願いし、労働安全や職場環境、メンタルを含む健康問題など社員の健康維持に資するテーマについて意見交換を行い、改善アクションにつなげています。

### 防災訓練

東港金属の京浜島工場及び千葉工場では、過去の大震災時の経験を風化させないように、防火・防災・避難訓練を毎月実施しております。また、工場見学のお客様も増えていることから、社員は災害時に適切な避難誘導ができるように、日頃から災害・防災の正しい知識と対応を習得するように努めています。

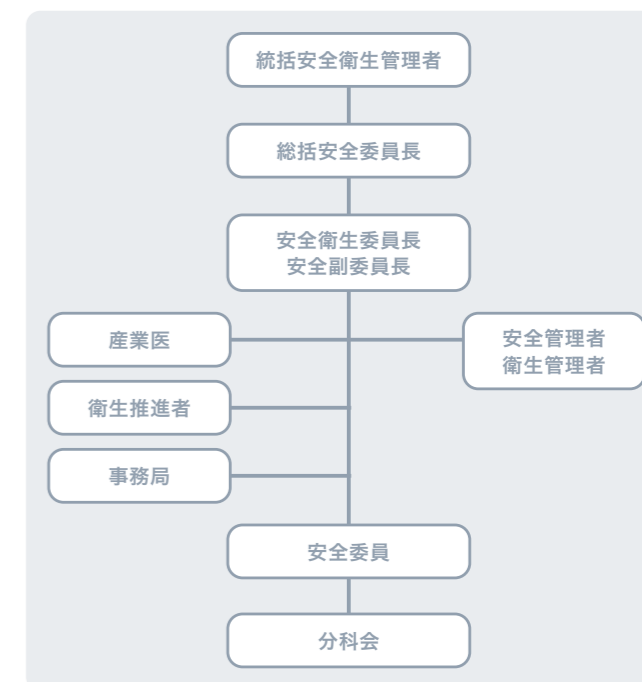
### 安否確認システムの訓練

災害時に、お客様をはじめ社員や社員の家族の安否と被災情報を把握し、会社として迅速な対応ができるように「安否確認システム」を整備しております。年1回、当該システムの訓練を実施し、非常時に備えております。

### 事業所周辺の美化運動

東港金属の京浜島工場は大田区の京浜島工業団地に位置し、周りを京浜運河が流れています。この広々とした地域の環境保全を維持し、見学に来られるお客様や搬入車が気持ちよく来社していただけるよう、毎朝本社周辺の道路及び搬入通路の美化清掃を行っています。

### 安全衛生委員会組織表



## ▶コーポレートガバナンス

当グループは、変化の激しい事業環境を的確に捉え、意思決定と業務執行の迅速化を図るとともに、公正で透明性の高い経営の実現を目指し、ガバナンス体制の強化に取り組んでおります。

### 企業統治

#### 【基本的な考え方】

サイクラーズは、金属スクラップおよび産業廃棄物を取り扱う事業者として、経営の透明性、健全性、効率性、倫理性、順法性の向上・確保を図ることで、企業価値の持続的な拡大を目指します。

サイクラーズは、当社に関わるすべてのステークホルダーに対して責任ある経営を実現し、長期に亘る企業価値の拡大を実現することを目標としております。

### コーポレート・ガバナンス体制

サイクラーズでは社外取締役2名が令和5年5月1日付で選任され、同日取締役会が設置されました。現在は、取締役計3名が取締役会において経営に関わる諸方針を討議・決定する体制になっております。

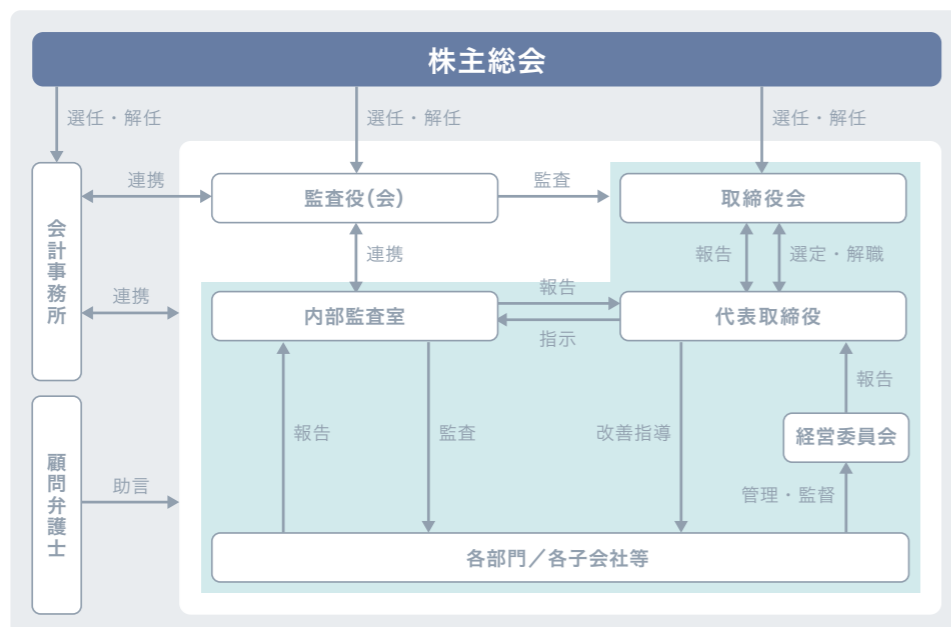
経営委員会は、代表取締役社長の他、執行役員をはじめとしたグループ幹部社員がメンバーとなっており、取締役会付議事項以外の様々な経営課題について自由に議論・討議する場となっております。

一方、令和5年5月1日付で社外監査役が選任されました。サイクラーズは今後も、経営に対する監査機能の充実を図ってまいります。

またサイクラーズは、適切な業務運営ならびに健全な発展を図るため、代表取締役社長直轄の内部監査室が内部監査を行う体制を整備しました。内部監査室は、当社及び当社グループの監査を実施し、その結果については代表取締役社長へ報告を行います。代表取締役社長は、監査結果を踏まえ、被監査部門に対して内部監査室を通じて監査結果及び必要に応じて改善事項を通達し、改善事項がある場合には、内部監査室を通じて改善状況報告を代表取締役社長に提出させることとしております。

サイクラーズは、現状の体制に満足することなく、迅速な意思決定と経営監視機能の充実を図り、コーポレート・ガバナンスの強化に今後も努めてまいります。

#### サイクラーズ株式会社のガバナンス体制



## ▶コンプライアンス

### 内部通報制度

当グループが継続的かつ安定的に発展する妨げとなる法令違反や社内不正などを防止または早期発見して是正することを目的に、内部通報窓口を設置しています。当社の役職員(役員、社員、パート、アルバイト、派遣社員等)が上司を経由せず、直接、電話・メール・手紙などで通報できる仕組みです。また、通報は匿名でも可能で、通報者個人を特定する情報は原則開示しないなど、秘匿性を確保し、安心して利用する環境を整えております。

### ▶地域との共生

#### プロバスケットボールチームB.LEAGUEに所属するチームへのサポート

当グループは、東京都城南地区を本拠地としてB.LEAGUEに所属しているプロバスケットボールチームのアースフレンズ東京Z(以下、東京Z)と2019年12月より『パートナー契約』を締結しています。また、地元のスポーツ振興として東京都大田区で活動しているチームを応援することで地域貢献に寄与しています。

東京Zにはファンクラブがありますので、興味のある方は是非ご加入ください。



#### 自転車競技へのサポート

当グループは環境関連企業として、2011年8月より公益財団法人日本自転車競技連盟(JCF)のオフィシャルスポンサーとしてオフィシャルスポンサーとして世界で戦う自転車競技代表チームを応援しております。日本ナショナルチームのユニホームには「サイクラーズ」のロゴも使われています。また、地元のスポーツ振興として、2021年11月に東京都大田区で活動している自転車チームのSNEL CYCLOCROSS TEAMを支援するためのスポンサー契約を締結しています。

当グループ内でも、KBC(keihinjima-bicycle-club)というサイクリングクラブを展開・活動しております。



## ▶情報セキュリティマネジメントシステム

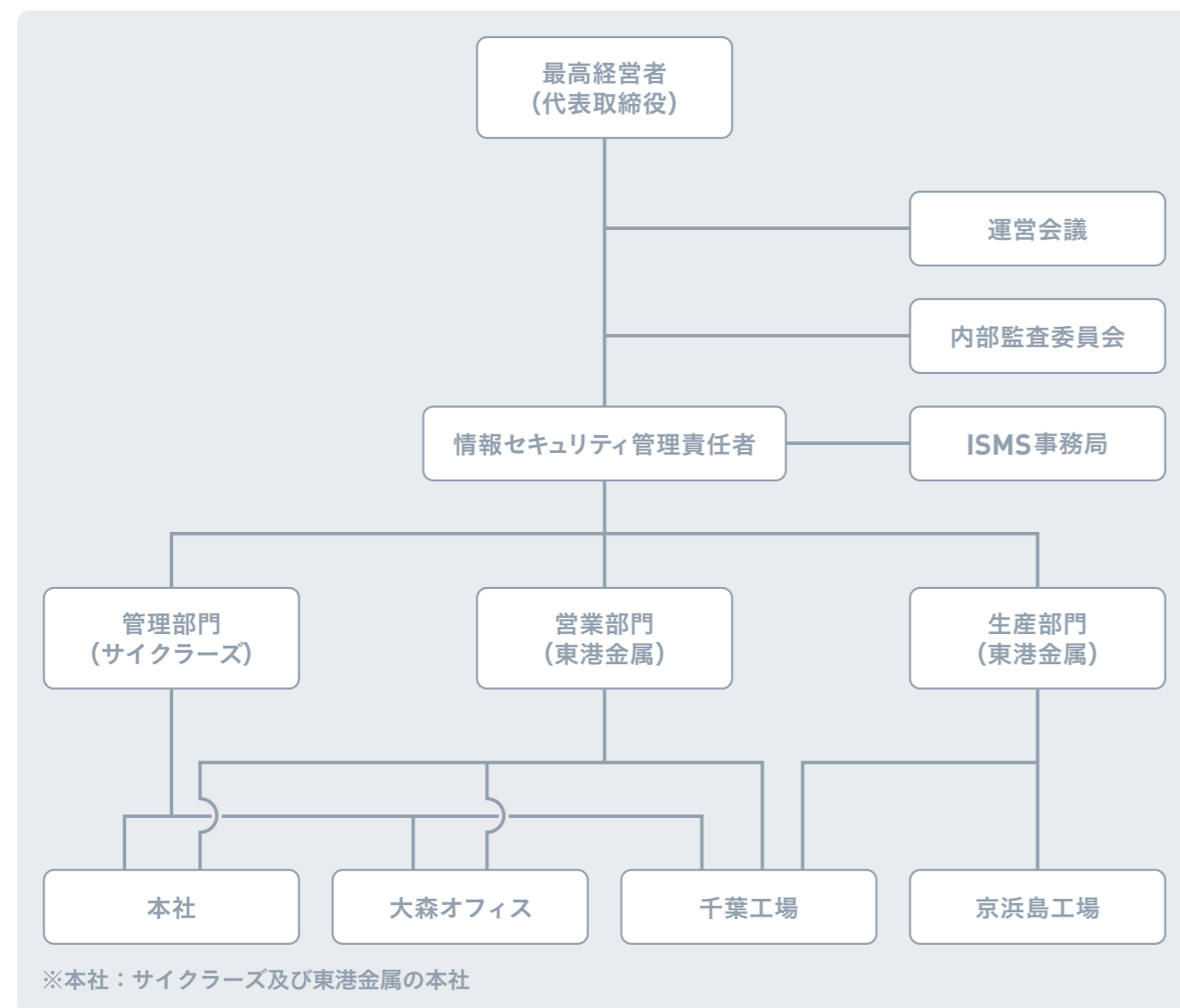
### 情報セキュリティマネジメント体制

ネット社会の今、不正アクセスやコンピュータウイルスによる被害、僅かなミスによる情報漏えいが大きな被害に発展する危険性を抱えている状況下で、情報セキュリティの必要性がますます重要となっております。

サイクラーズ、東港金属並びにトライシクルは、2009年4月に「情報セキュリティマネジメントシステム」ISO27001の認証取得しております。

また、「個人情報の保護に関する法律(個人情報保護法)」や「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(マイナンバー法)」に対応し、顧客情報・顧客資産・従業員個人情報保護の責務を果たし、お客様の利益と会社全体の情報セキュリティを推進することが重要な顧客サービスであると考え、情報セキュリティマネジメント体制を整え定期的に当社が保有する全ての情報資産をリスク評価し、そのリスクに応じて対策を実行しております。

お客様がかけがえのないパートナーとして、安心して当社をご利用いただけるよう、マネジメントシステムの構築、維持のPlan-Do-Check-Actのプロセスを通じて、入社時研修をはじめ、定期的に社員一人ひとりの意識の浸透を図り、推進してまいります。



### 情報セキュリティ基本方針(サイクラーズ及び東港金属)

#### 1. 目的と活動の原則

サイクラーズ株式会社及び東港金属株式会社(以下、「当組織」という)は、非鉄金属原料及び製鋼原料等の金属スクラップの加工処理並びに売買、産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業等の事業を進めていく上で、顧客情報や処理を受託した機器の記録部の中に含まれている情報等の重要情報を保有している。

一方、事業の拡大に伴う関連部門間との情報伝達経路の多様化により、情報の漏洩、改ざん、センター機器や情報伝達経路の不具合による事業活動の遅滞や停止等の潜在的なリスクを有している。

情報セキュリティマネジメントシステム(以下、「ISMS」という)規格に準拠するISMSの構築、維持のPDCAプロセスを通じて、これらのリスクに対応する仕組みを確立することが当組織の重要な顧客サービスとなることを認識し、従業員が一丸となりISMSを実施し、顧客及び当社の継続的な事業発展のために、ここに情報セキュリティ基本方針を制定する。

#### 2. 法令・規程・規則

顧客情報・顧客資産・従業員個人情報の保護の責務を果たすため法的要求事項、及び自主的に受入を決めたその他の要求事項を順守、管理する。

#### 3. ISMS組織体制の確立

事業の変化とそれに伴うリスクの変化に対して適切に対処するために、情報セキュリティ管理責任者を任命し、その下にISMS事務局を設ける。

また、ISMSのPDCAプロセスが適切に機能していることを評価する内部監査組織を設置する。

情報セキュリティ管理責任者とISMS事務局は、当組織のISMS全般に亘る管理、運営を行う。

#### 4. リスクへの対応

顧客情報と会計販売情報の機密性を最重要視する。これら情報の漏洩は当社の信頼性を著しく損ない、悪用されれば当組織の事業継続に重大な影響を及ぼすと考えられる。

また、これら情報が集積しているサーバとその伝達経路の不具合は、業務遂行上の重大なリスクであり、完全性と可用性を考慮する。なお、リスクマネジメントは、客観的に体系化され、重要なリスクを有効に見出す仕組みとして、継続的に見直しを行なえるものとする。

## 企業概要

## ▶グループ会社情報

社名	サイクラーズ 株式会社	東港金属 株式会社	TML 株式会社
英語名	Cyclers Co., Ltd.	Toko Metal Co., Ltd.	TML Co., Ltd.
代表者	代表取締役 福田 隆	代表取締役 福田 隆	代表取締役 青山 貴好
本社	〒143-0003 東京都大田区京浜島2-20-4 TEL:03-6412-9009 FAX:03-3790-1755	本社/京浜島工場 〒143-0003 東京都大田区京浜島2-20-4 TEL:03-3790-1751 FAX:03-3790-1755	〒143-0003 東京都大田区京浜島2-19-10 TEL:03-3790-2882 FAX:03-3790-1755
事業所	大森オフィス 〒140-0013 東京都品川区南大井 6丁目26番3号 大森ベルポートD館8階 TEL:03-6410-8797 FAX:03-5767-8870  千葉事務所 〒293-0011 千葉県富津市新富52-1 TEL:0439-80-4545 FAX:0439-80-4646	大森オフィス 〒140-0013 東京都品川区南大井 6丁目26番3号 大森ベルポートD館8階 TEL:03-5767-8860 FAX:03-5767-8870  千葉事務所/千葉工場 〒293-0011 千葉県富津市新富52-1 TEL:0439-80-4545 FAX:0439-80-4646	—
出資比率	—	サイクラーズ 100%	サイクラーズ 100%
設立	2020年9月(令和2年)	1947年12月(昭和22年)	2006年1月(平成18年)
資本金	1億円	1億円	1,000万円
決算日	毎年12月31日	毎年12月31日	毎年12月31日
従業員数	20名(2023年1月1日現在)	137名(2023年1月1日現在)	20名(2023年1月1日現在)
事業内容	グループの事業の統括 グループの法務、財務、 経理、人事等の統括及び グループ会社からの当該業 務の受託 グループのIT戦略・企画及 びグループ会社を含む共有 システムの維持管理	金属スクラップ全般に関す る業務(国内/輸出入) プラスチックの各種 リサイクル 産業廃棄物の収集運搬及び 中間処理、再生、並びに リサイクル事業他	産業廃棄物・ 特別管理産業廃棄物の収集 運搬業務 一般貨物自動車運送事業他
ウェブサイト	<a href="https://www.cyclers.co.jp">https://www.cyclers.co.jp</a>	<a href="https://www.tokometal.co.jp">https://www.tokometal.co.jp</a>	<a href="https://www.tml-ce.com">https://www.tml-ce.com</a>

トライメタルズ 株式会社	トライシクル 株式会社	有限会社 竜田自転車五反田	株式会社 リ・セゾン
Tri Metals Co., Ltd.	Tricycle Co., Ltd.	TATSUTA-Cycle	ReSAISON Co., Ltd.
代表取締役 福田 隆	代表取締役 福田 隆	代表取締役 小林 永芳	代表取締役 谷島 遼
〒143-0003 東京都大田区京浜島2-20-4 TEL:03-3790-1751 FAX:03-3790-1755	〒140-0013 東京都品川区南大井 6丁目26番3号 大森ベルポートD館8階 TEL:03-6410-8780	〒141-0031 東京都品川区西五反田6-23-8 TEL:03-3492-2983 FAX:03-3493-7824	〒140-0013 東京都品川区南大井 6丁目26番3号 大森ベルポートD館8階 TEL:03-6423-1961 FAX:03-6423-1962
大森オフィス 〒140-0013 東京都品川区南大井 6丁目26番3号 大森ベルポートD館8階 TEL:03-5767-8866 FAX:03-5767-8870	ReSACOリサイクルセンター 〒293-0011 富津市新富79-1	—	リサイクルセンター 〒293-0011 富津市新富79-1
サイクラーズ 100%	サイクラーズ 100%	サイクラーズ 100%	クレディセゾン50% サイクラーズ 50%
2007年3月(平成19年)	2018年5月(平成30年)	1989年1月(平成元年)	2022年8月(令和4年)
600万円	1,000万円	500万円	3,000万円
毎年12月31日	毎年12月31日	毎年12月31日	毎年3月31日
1名(2023年1月1日現在)	19名(2023年1月1日現在)	5名(2023年1月1日現在)	8名(2023年1月1日現在)
鉄鋼、ステンレス、 プラスチック、アルミニウム、 銅等非鉄金属製品の加工処 理及び販売並びに 輸出入 製鋼原料の販売及び輸出入 リサイクル機器並びに 中古の建設機械の販売及び 輸出入 廃棄物の適正処理、 リサイクルの為の設備導入、 技術移転、 メンテナンス等の 国際コンサルティング	不用品を最適な方法・価格 で提供する プラットフォーム (ReSACO) 産廃・建廃の委託契約 を電子化するサービス (EcoDraft) 中古品、リサイクル製品の 販売他	自転車部品や用品・ オートバイのタイヤ等の ECサイト運営および卸売業 ヤフーショッピングでは 「スターサイクル東京」とし て自転車部品や用品、オー トバイのタイヤ等の ショップとして出店 (自社サイトやamazonで も販売)	OA機器を中心としたリー スアップ物件の引き揚げ、 販売 マテリアルリサイクルを 通じた再循環・再資源化
<a href="https://www.trimetals.co.jp">https://www.trimetals.co.jp</a>	コーポレートサイト: <a href="https://tricycle-ce.com">https://tricycle-ce.com</a> 企業向けフリマアプリ ReSACO: <a href="https://resaco.id">https://resaco.id</a> 電子契約書作成サービス エコドラ フト: <a href="https://ecodraft.id">https://ecodraft.id</a>	<a href="https://www.tatsuta-cycle.jp">https://www.tatsuta-cycle.jp</a>	<a href="https://www.re-saison.co.jp">https://www.re-saison.co.jp</a>

## ▶許可・認定・認証

- |  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| <p><b>サイクラーズ</b><br/>◆ISO 14001認証<br/>本社<br/>◆ISO 27001認証<br/>本社</p> | <p><b>東港金属</b><br/>◆産業廃棄物収集運搬業<br/>◆産業廃棄物処分業(中間処理)<br/>◆自動車リサイクル法に基づく破砕業(千葉工場のみ)<br/>◆古物商 第301139601116号<br/>◆東京都 産廃エキスパート認定(中間処理及び収集運搬業)<br/>◆第1フロン類充填回収業者登録<br/>◆ISO 14001認証<br/>本社・京浜島工場、千葉工場<br/>◆ISO 27001認証<br/>本社・京浜島工場、千葉工場</p> | <p><b>TML</b><br/>◆産業廃棄物収集運搬業許可(優良産廃処理業認定)<br/>◆特別管理産業廃棄物収集運搬業(東京都 産廃エキスパート認定(収集運搬業))<br/>◆ISO14001認証</p> | <p><b>トライシクル</b><br/>特定労働者派遣事業許可<br/>◆古物商 第302161904671号<br/>◆ISO 27001認証<br/>本社</p> <p><b>リ・セゾン</b><br/>◆古物商 第302162220111号</p> |
|--|---|---|--|

## 東港金属及びTML (特別管理)産業廃棄物収集運搬業 許可一覧表

当許可証は「産廃情報ネット」からご覧いただけます。  
東港金属及びTMLのホームページからもアクセスできます。

2023年1月1日現在

会社名	取得都道府県名	許可品目 (●は石綿含有物質を含む、◎水銀使用製品廃棄物を含む、●は石綿含有物質及び水銀使用製品廃棄物を含む)														優良産廃処理業者認定制度による優良認定		
		産業廃棄物											特別管理産業廃棄物					
		汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	陶磁器くず	ガラスくず、コンクリートくず	がれき類		廃酸	廃アルカリ
東港金属株式会社	岩手県					●	○	○	○		○	●	●					○
	福島県	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●					○
	茨城県		○			●		○			○	●	●					○
	栃木県		○			●	○	○	○		○	●	●					○
	埼玉県	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●					○
	千葉県	◎	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●					○
	東京都	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●					○
	神奈川県	◎	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●					○
静岡県					○					○	○	○					○	
TML株式会社	岩手県					●	○	○	○		○	●	●					○
	秋田県	●	○	○	○	●※	○	○	○		○◎※	●※	●					
	山形県	●	○	○	○	●※	○	○	○		○◎※	●※	●					
	福島県					●	○	○	○		○	●	●					○
	茨城県	○	○			●	○	○	○		○	●	●					○
	栃木県	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●					○
	群馬県	◎	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●					○
	埼玉県	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●					○
	千葉県	◎	○	○	○	●※	○	○	○	○	○◎※	●※	●					○
	東京都	◎	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●					○
	神奈川県	◎	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●					○
	長野県	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●					○
	静岡県					●	○	○	○	○	○	●	●					○
愛知県	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎						
特別管理産業廃棄物	千葉県													○	○	○	○	○
	東京都													○	○	○	○	○
	神奈川県													○	○	○	○	○

※TMLは、秋田県、山形県及び千葉県の産業廃棄物の許可品目の中で、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずには自動車等破砕物を含みます。

## 東港金属の産業廃棄物処分許可一覧

当許可証は「産廃情報ネット」からご覧いただけます。  
東港金属及びTMLのホームページからもアクセスできます。

2023年1月1日現在

取得都道府県	許可品目								優良産廃処理業者認定制度による優良認定
	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	
千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都	○	○	○	○		○	○		○

## ▶社員の資格一覧

	人数		人数
フォークリフト運転技能者	78	普通自動二輪車免許	28
玉掛作業者	53	大型自動二輪車免許	5
車両系建設機械(整地・運搬・積み込み及び掘削用)運転者	61	自動車整備士	2
車両系建設機械(解体)運転者	40	2級土木施工管理技士	1
小型移動式クレーン運転士	36	第一種電気工事士	1
移動式クレーン運転士5t未満	15	第二種電気工事士	6
移動式クレーン運転士	36	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	2
床上操作式クレーン運転士	11	足場の組立て等作業主任者	2
クレーン運転士 5t未満	12	特定化学物質作業主任者	1
クレーンデリック(クレーン限定)	2	有機溶剤作業主任者	3
ガス溶接技能者	29	酸素欠乏危険作業主任者	2
アーク溶接作業者	20	不整地運搬車運転者	1
高所作業車運転者	10	低圧電気取扱者	1
危険物取扱者	8	ボイラー技士	1
破砕・リサイクル施設技術管理士	1	2級機械製図作業	1
はい作業主任者	9	栄養士	1
冷媒回収技能者(登録講習会)	2	救命技能認定	3
古物商許可	1	陸災防安全衛生教育講師	1
安全衛生推進者	8	職長教育	9
安全管理者	1	安全衛生責任者	7
防火管理者	4	第二種外務員資格	1
衛生管理者	2	実用英語技能検定2級	2
産廃処理業の許可申請に関する講習会 処分課程(新規/更新)	1	宅地建物取引主任者	2
産廃又は特管産廃処理業の許可申請に関する講習会 処分課程(更新)	1	秘書技能検定	1
産廃処理業の許可申請に関する講習会 収集運搬課程(新規/更新)	1	派遣元責任者	2
産廃又は特管産廃処理業の許可申請に関する講習会 収集運搬課程(更新)	1	交通労働災害防止担当管理者	1
整備管理者	4	ダイオキシン類特別教育インストラクター	1
運行管理者	4	産業廃棄物処理業者講習会	5
けん引免許	16	特別管理産業廃棄物管理責任者	2
大型特殊免許	11	PCB廃棄物の収集運搬業従事者(講習)	2
大型自動車免許	36	ISO14001内部監査員	2
大型自動車二種免許	2	ISO27001内部監査員	2
中型自動車運転免許	76	公害防止管理者(大気一種)	1
簿記	9	公害防止管理者(水質一種)	1
普通自動車免許	126		



▶各拠点ロケーション・工場情報

〒141-0031  
東京都品川区西五反田 6-23-8  
有限会社 竜田自転車五反田 本社  
TEL: 03-3492-2983 FAX: 03-3493-7824

〒143-0003  
東京都大田区京浜島 2-20-4  
サイクラーズ 株式会社 本社  
TEL: 03-6412-9009 FAX: 03-3790-1755  
東港金属 株式会社 本社 / 京浜島工場  
TEL: 03-3790-1751(代) FAX: 03-3790-1755  
トライメタルズ 株式会社 本社  
TEL: 03-3790-1751(代) FAX: 03-3790-1755

〒293-0011  
千葉県富津市新富 52-1  
サイクラーズ 株式会社 千葉事務所  
TEL: 0439-80-4545(代) FAX: 0439-80-4646  
東港金属 株式会社 千葉事務所 / 千葉工場  
TEL: 0439-80-4545(代) FAX: 0439-80-4646

〒140-0013  
東京都品川区南大井 6丁目26番3号  
大森ベルポート D館8階  
トライシクル 株式会社 本社  
TEL: 03-6410-8780  
株式会社 リ・セゾン 本社  
TEL: 03-6423-1961 FAX: 03-6423-1962  
サイクラーズ 株式会社 大森オフィス  
TEL: 03-6410-8797(代) FAX: 03-5767-8870  
東港金属 株式会社 大森オフィス  
TEL: 03-5767-8860(代) FAX: 03-5767-8870  
トライメタルズ 株式会社 大森オフィス  
TEL: 03-5767-8866(代) FAX: 03-5767-8870

〒293-0011  
千葉県富津市新富 79-1  
トライシクル 株式会社 ReSACOリサイクルセンター  
株式会社 リ・セゾン リサイクルセンター

〒143-0003  
東京都大田区京浜島 2-19-10  
TML 株式会社 本社  
TEL: 03-3790-2882(代) FAX: 03-3790-1755

ReSACO リサイクルセンター / リサイクルセンター  
敷地面積 : 32,454.07㎡ (9817坪)



京浜島工場 敷地面積 : 9057.08㎡ (2739坪)

【主要生産設備】

- ・切断機 (スクラップシャー)
- ・選別機
- ・産廃シュレッダー
- ・圧縮梱包機
- ・アルミプレス機
- ・ラップマシーン
- ・集塵機
- ・シャーリング機
- ・剥線機
- ・銅プレス機
- ・ベットマット剥離機
- ・切断機
- ・風力・比重選別機



千葉工場 敷地面積 : 41573.24㎡ (12,600坪)

【主要生産設備】

- ・産廃シュレッダー
- ・サイジングドラム
- ・ドラム式磁選別機
- ・吊り下げ磁選機
- ・非鉄選別機
- ・カラーセンサー動続選別機
- ・一次集塵機
- ・切断機
- ・プレス機

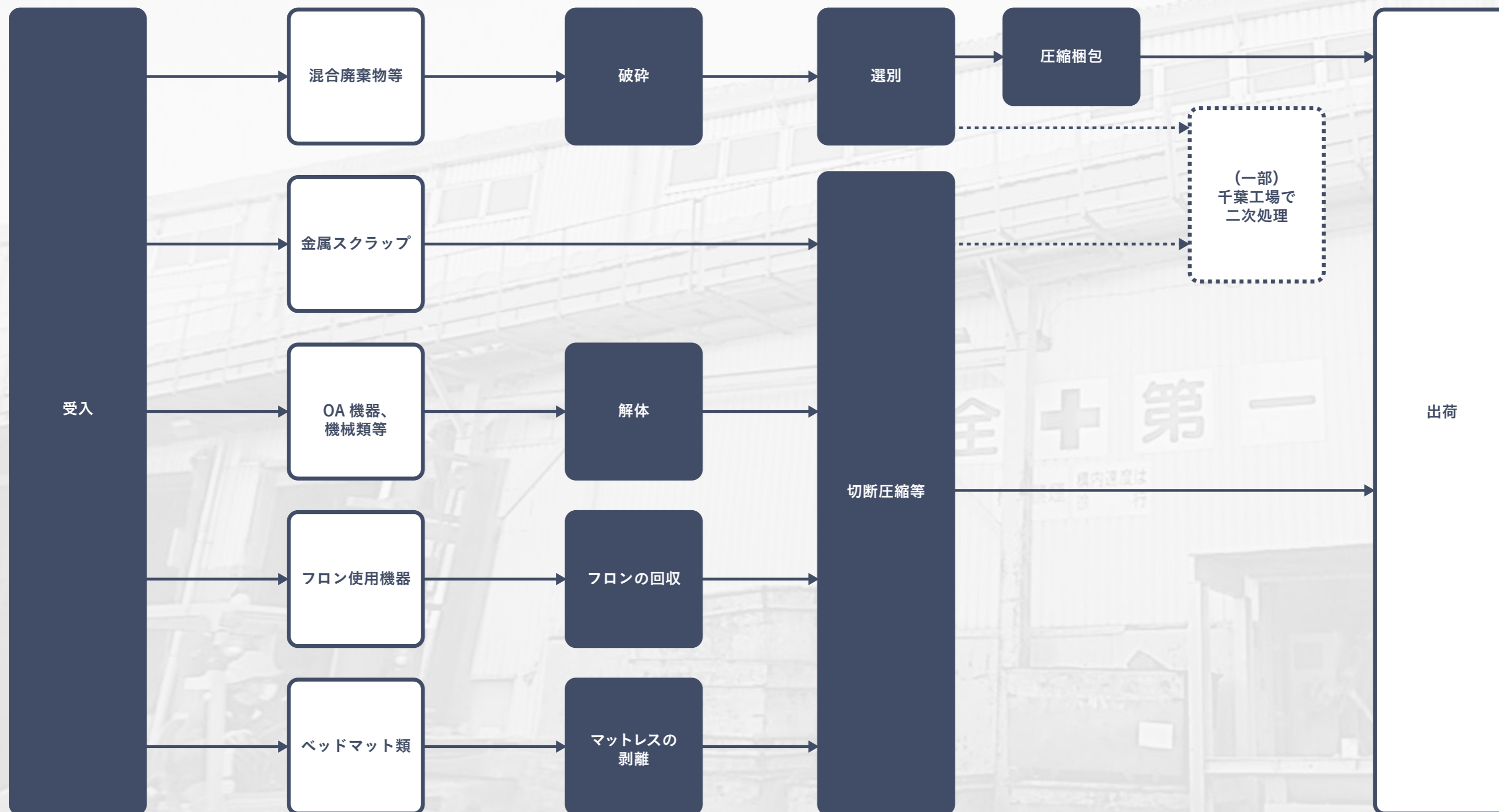


## ▶リサイクルフロー

### 京浜島工場リサイクルフロー

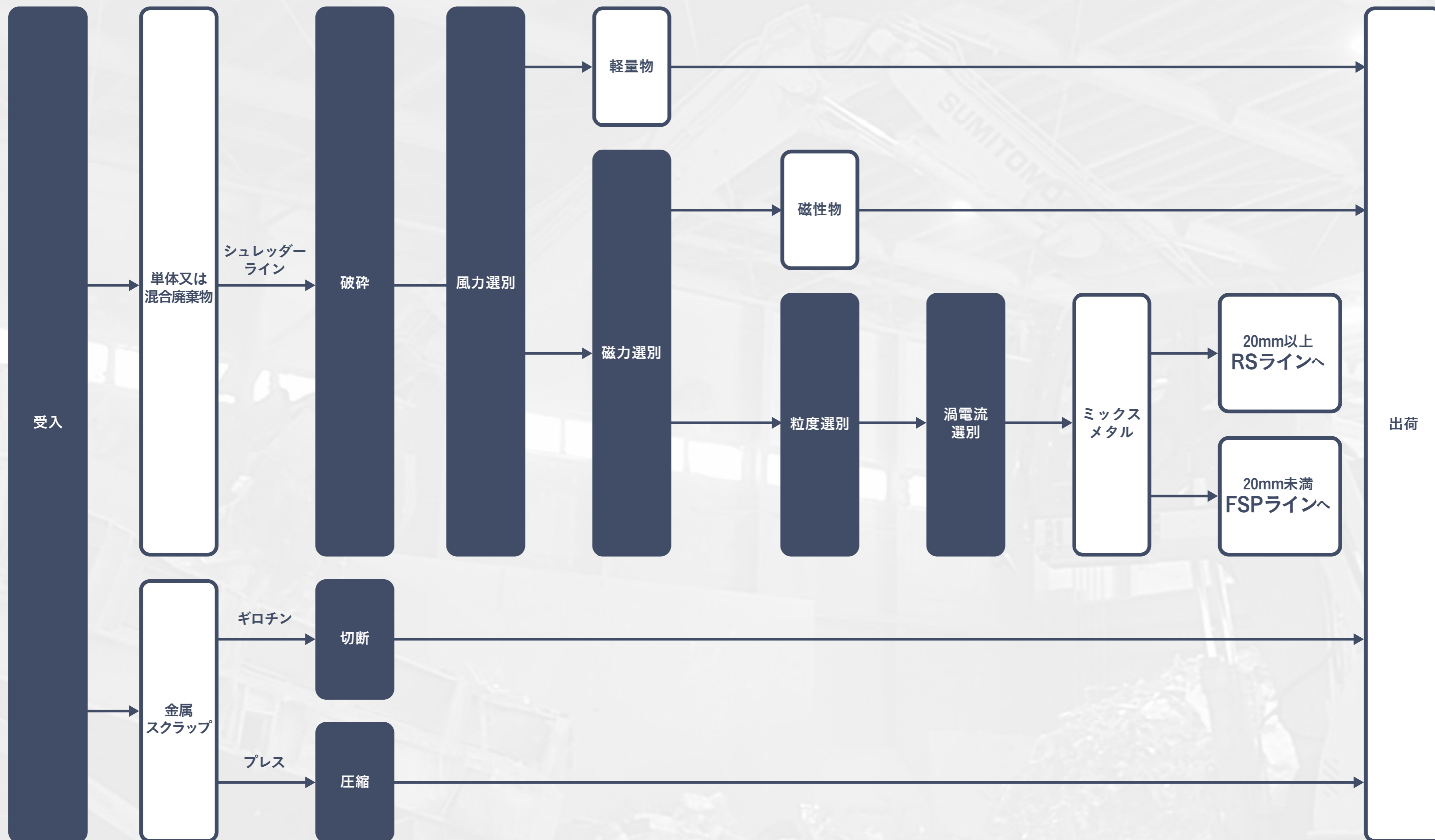
■24時間363日受け入れ可能、都内随一の取扱量・品目を誇る

■大田区京浜島の好立地を生かした生産拠点



千葉工場リサイクルフロー /シュレッダーライン&ギロチン&プレス

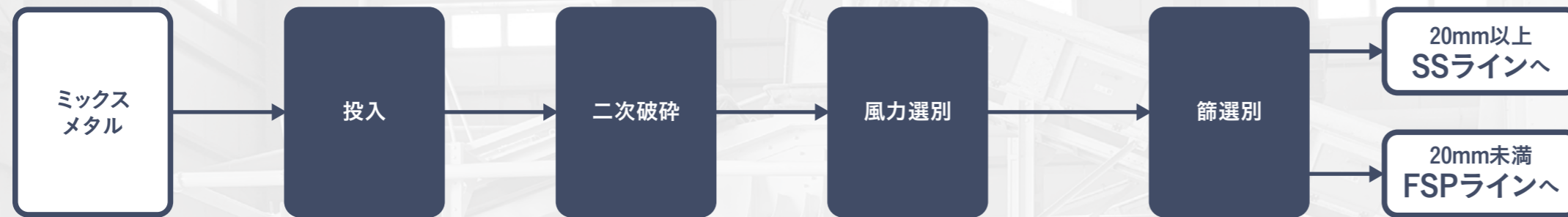
■ドイツ製メインシュレッダー（1000馬力）により幅広い部材のリサイクルに対応



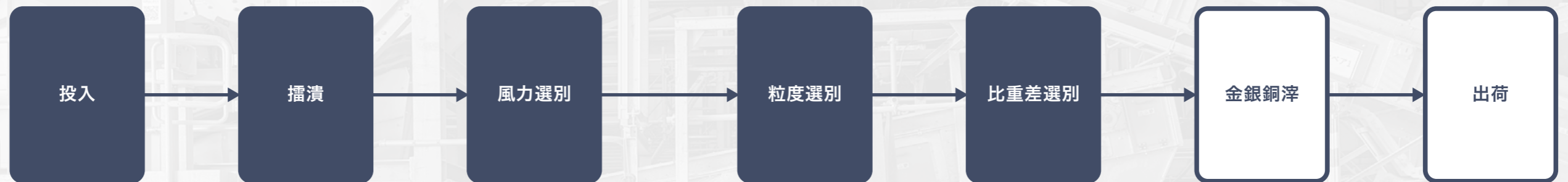
## 千葉工場リサイクルフロー 2

■世界水準の選別技術でミックスメタルを極限までリサイクル

### RSライン



### FSPライン



国内1号機となる複合センサー選別ラインを設置、鉄・真鍮・ステンレス・アルミ等を選別

### SSライン

